



議会閉会中も案件の審査・調査を行う委員会。その活動内容をお知らせします。

建設水道

下水道料金の改定

「下水道使用料の改定」を調査テーマの最重要課題として取り組んだ。

10月5日、9月定例会で否決された条例の一部改正について、委員会の対応を協議した。

9日、議会が重視する論点を整理して「建設水道常任委員会所管事務における資料の提出について」を協議し、町長に提出した。

16日、この回答書について協議し、委員会の対応を確認。論点は次の2



▲工事が進む新島中央公園内トイレ

点に集約された。

①住民説明会の早期開催は、推移を見守りながら追跡調査を行う。

②公共下水道供用開始地区内の未接続世帯に対する接続促進は、当局の公平かつ具体的な行動をエックしていく。

11月2日開催

水道事業

決算資料をもとに健全な経営状況を確認。料金の値上げは、平成25年までしない見込み。

11月10日

新島中央公園内トイレ改修現場を視察

男性用トイレ和風便器を洋風などに変更可能か。既製のユニット品である。

総務文教

小・中学校の訪問調査

10月6日・11月16日開催

播磨中学校

①不登校生徒の取り組み
②トライやる・ウィーク
③携帯電話の禁止
について調査した。



▲小学校給食の状況を視察

10月2日開催

県立東はりま特別支援学校を視察

9月4日開催

民生生活

民生生活

小規模多機能型居宅介護事業所「みんなの家」・高齢者向け優良賃貸住宅「COCO播磨」を視察

Q COCO播磨の入居率は、充足率の平均は40%で、事業計画に比べて低い。

A 特別養護老人ホーム「あえの里」を視察。特養待機者の状況は、100人余りで、必要度の高い順に入所となる。

Q 子どもたちの卒業後の就労支援はどうか。

A 学校として就労施設を考えていく必要がある。「播磨町と環境保全協定を締結している企業」を視察

もっときれいな喜瀬川に

表紙の題字は

播磨小学校6年

竹内 瑞希さん

の作品です



私の家の前には、喜瀬川が流れています。喜瀬川下流には自転車捨てられていたり、ゴミがういていたりして、きれいとは言えません。だから、全部がきれいな喜瀬川になってほしいです。そのためは、みんな

がもっと喜瀬川に関心をもっときれいにしていけたらいいなと思います。年一回の喜瀬川清掃をもっと増やして、みんなが少しずつでも喜瀬川をきれいにするボランティア活動ができるようにすればいいと思います。私は

まだ、一回も喜瀬川清掃に参加したことはないけれど、今度は、ぜひ参加しようと思います。その時には友達もたくさんさそってきれいになりたいです。これからの喜瀬川は播磨町のシンボルとして、上流から下流まで、きれいな町民のいこいの場所になったらいいなと思っています。

り、スペース的に不可能。

Q 多目的トイレの異常通報の仕組みは。

A 議会提案を受け、標準のパトライトに音声を発するサイレンを付けて設置する。

10月14日・15日

行政視察

14日、東京都日の出町で地籍調査事業、15日は栃木県下野市で上下水道事業について調査した。

して暮らせる居場所づくりをすること。

10月29日・30日

行政視察

住民会議の設置は

29日の鳥取県智頭町では、町の課題などを地域住民が計画・立案・予算化まで行政に提言する制度を町長が導入し、100人のボランティアを募集。来年度予算には1億円余りを計上する予定であり、播磨町版100人委員会の（住民会議）設置の可能性を調査した。

学校の芝生化

30日、鳥取市で1㎡当たり、約100円で済む学校の芝生化を調査した。

放課後子どもプラン

Q 子どもが放課後、安心

Q 少人数授業の効果は。習熟度別授業とは異なり、子どもの良さを引き出す指導を実施している。

Q 虐待発見時の対応は。

A 登校時の様子、傷、あざの程度をポイントに係機関に通報している。

みについて説明を受けた。地域の生活環境を保全するため、協定値を超える操業を停止するほか、緊急時を想定した訓練なども実施している。

11月12日・13日

行政視察

12日、京都府長岡京市では「町をきれいにする条例」について条例制定に至った背景と経過などを調査した。

議会運営

常任委員会数を3から2へ

11月4日・5日

行政視察

現在の議員定数は18人



▲那智勝浦町議会を調査

だが、次期改選時の平成23年4月からは議員定数が14人となる。この議員定数削減に伴い、現在の総務文教・民生生活・建設水道の3常任委員会を見直すため、和歌山県那智勝浦町・串本町議会を調査した。その後の委員会において、議論の結果、次期改選後は2常任委員会と決めた。